

三心を磨く

学校だより No. 12

令和3年2月4日(木)発行

須坂市立東中学校

文責: 嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

アンケート結果から その1

今回は、生徒を対象に12月に実施した「授業アンケート」「学校評価アンケート」の結果をお知らせします。生徒の現状についてご理解いただけたらと思います。なお、結果から見えてくる今年度の成果と今後の課題を明確にし、来年度にむけての準備を進めて参りたいと思います。

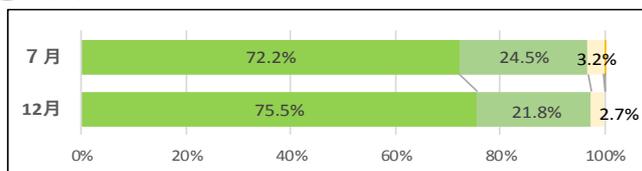
生徒による「授業アンケート」～7月実施との比較から

12月21日(月)～24日(木)実施【回答率95.1%】 (7月27日(月)～31日(金)実施【回答率96.5%】)

■A 当てはまる ■B どちらかといえば当てはまる ■C どちらかといえば当てはまらない ■D 当てはまらない

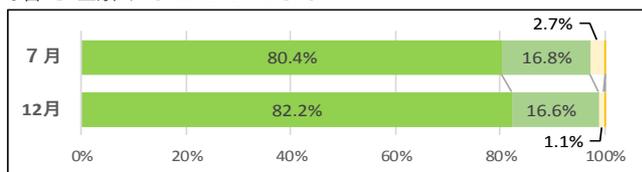
①授業は内容が充実していてわかりやすく満足できる

	A	B	C	D
12月	75.5%	21.8%	2.7%	0.0%
7月	72.2%	24.5%	3.2%	0.2%



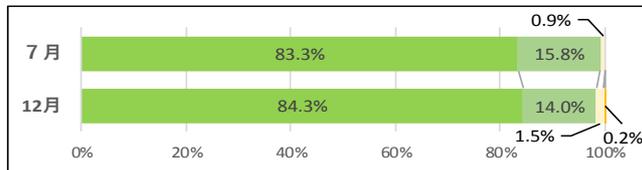
②授業では、友人と関わり合いながら、学習内容を理解することができる

	A	B	C	D
12月	82.2%	16.6%	1.1%	0.2%
7月	80.4%	16.8%	2.7%	0.1%



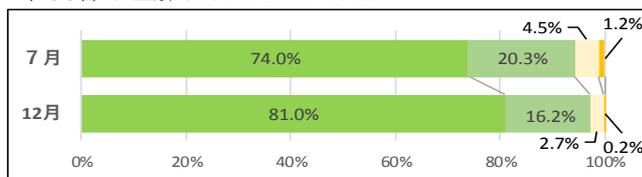
③授業は1人1人が大切にされていて、安心して学習できる

	A	B	C	D
12月	84.3%	14.0%	1.5%	0.2%
7月	83.3%	15.8%	0.9%	0.0%



④デジタル教科書・プロジェクター・タブレットを使って、内容を理解することができる

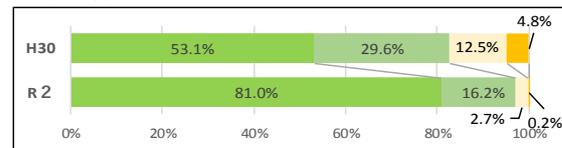
	A	B	C	D
12月	81.0%	16.2%	2.7%	0.2%
7月	74.0%	20.3%	4.5%	1.2%



- 授業の満足感について、97%の肯定的な回答でした。
- 協働的な学習による内容の理解も、98%の肯定的な回答でした。
- 安心して学習できる授業について、7月より肯定的な数値が若干減ったが、98%の肯定的な回答でした。
- ICTの活用による理解についても肯定的な回答が高く、2年前の同質問事項と比較すると近年のICTを活用した授業については成果が伺えます。

④デジタル教科書・プロジェクター・タブレットを使って、内容を理解することができる

	A	B	C	D
R2	81.0%	16.2%	2.7%	0.2%
H30	53.1%	29.6%	12.5%	4.8%

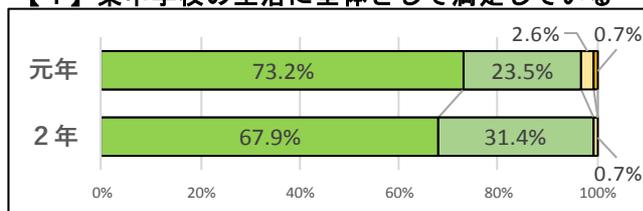


従来の資料提示、個人作業のためのICTの活用だけでなく、今年度は、協働的な学びや合理的な配慮のためのICT活用にも取り組んできたことが、成果につながっていると考えます。来年度から中学校でも「新学習指導要領」が全面実施となります。今後もICTを活用した「分かる授業」作りを充実させていきます。

生徒による「学校評価アンケート」 12月21日（月）～24日（木）実施【回答率97.9%】

■A 当てはまる ■B どちらかといえば当てはまる ■C どちらかといえば当てはまらない ■D 当てはまらない

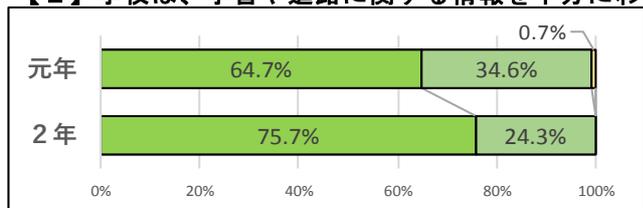
【1】東中学校の生活に全体として満足している



99%の肯定的な回答でした。コロナ禍の中で制限されることが多かったが、生徒なりに満足した生活を過ごせたと考えます。

この結果に満足せずに、100%を目指して、今後も丁寧な支援をしていきたいと思ひます。

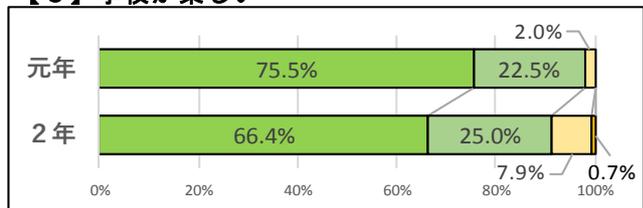
【2】学校は、学習や進路に関する情報を十分にわかりやすく伝えている



学習や進路については、お便り等で、生徒に向けて、発信してきました。今後も丁寧な情報発信を引き続き行っていきます。

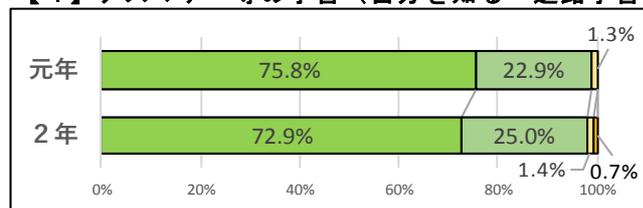
「学校が楽しい」の質問に対して、否定的な回答が1割弱ありました。

【3】学校が楽しい



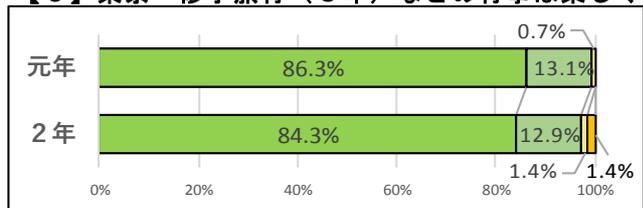
今年度、コロナ禍でいろいろな場面で、感染予防のために、制限しなくてはいけないことが多く、部活動や文化祭等、生徒がエネルギーを発散する場面において窮屈な思いをさせたこと、まずは真摯に受け止めたと思ひます。しかし、感染予防のため引き続きしっかり対応していきたいと思ひます。

【4】アズマデー等の学習（自分を知る・進路学習・福祉学習・防災学習など）は役立った



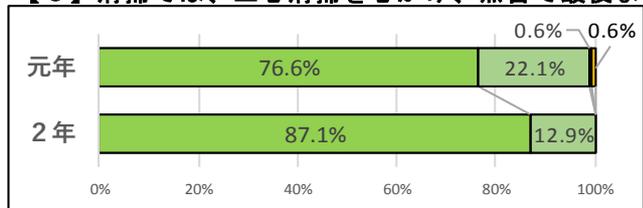
コロナ禍の中、アズマデーの内容も検討し、例年とは異なる活動を扱いました。活動内容が例年と異なっても「自分を知る・自分の生き方を考える・共に生きていく等」の学習のねらいが明確であったため充実した活動ができたと思ひます。

【5】東祭・修学旅行（3年）などの行事は楽しく充実していた



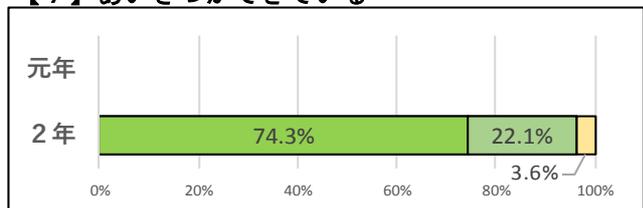
東祭では、感染症対応の制限がある中でも、生徒たちなりに楽しんでる姿がたくさん伺えました。3年生の修学旅行も北信地域巡りとなりましたが、奈良京都の修学旅行とはまた違ったよさを生徒自身で発見できていました。

【6】清掃では、三心清掃を心がけ、無言で最後まで取り組んでいる

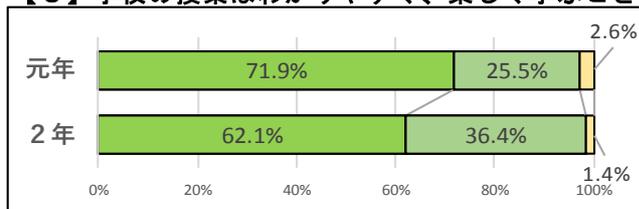


「あいさつ」「清掃」は本年度、生徒会の重点活動でした。ほとんどの生徒が肯定的な回答で、生徒会の取組の成果だと思ひます。なお【7】の質問は新たに取り入れました。

【7】あいさつができています



【8】学校の授業はわかりやすく、楽しく学ぶことができる



98%以上の肯定的な回答で、生徒にとって「わかりやすく、楽しく学ぶ授業ができている」と考えます。ただ「当てはまる」の割合が減っている点を考え、より「わかりやすく、楽しく学べる授業」の改善に取り組んでいきます。

【9】毎日、家庭学習に取り組んでいる



91%以上の肯定的な回答で多くの生徒は「家庭学習」に取り組んでいることが分かります。しかし、「自分で計画して学習に取り組んでいるか」の肯定的な回答は81%と1割減となっています。また【11】の『「やればできる」と思うようになった』の結果も肯定的な回答が1割減となりました。

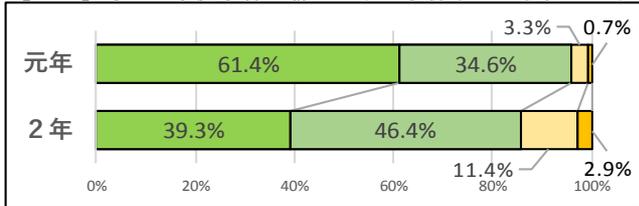
【10】自分で計画して学習に取り組んでいる



これらの結果から、「やらされている」「形式的」といった「家庭学習」になってしまっていることが分かります。

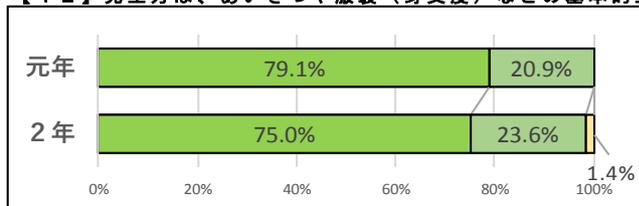
「主体的な学び」の必要性が叫ばれる中、本校生徒は、大変主体的に授業に取り組めます。

【11】毎日の家庭学習・朝のドリル学習などの取組により「やればできる」と思うようになった



しかし、「家庭学習」については、やや課題があると考えます。根気よく取り組んだ成果が実を結ぶ経験ができる場面を意図的に作っていくことで、じっくり取り組む「家庭学習」に必要感を持たせ、主体的に取り組めるようにしていきたいと思います。

【12】先生方は、あいさつや服装（身支度）などの基本的な生活習慣を身につける指導をしている



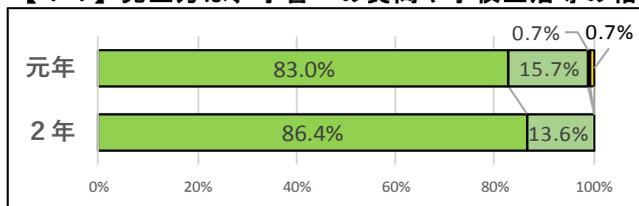
生活習慣については、日頃より特に厳しい指導をしていません。落ち着いた生活ができているのも生徒会を中心とした生徒の自主性による成果と考えています。引き続き生徒の自主性を尊重した支援を行っていきます。

【13】先生方は、一人一人の生徒を大切に、いじめや体罰のない安心な学校生活を送れるようにしている



多くの生徒が肯定的な回答でした。今後も「安心できる学校」作りに取り組んでいきます。また、数人の否定的な回答もあったことを忘れず、より丁寧な対応に心がけていきたいと思っています。

【14】先生方は、学習への質問や学校生活等の相談に、ていねいに対応している



100%肯定的な回答でした。学習に関しては、教科担任だけでなく、本校は学習支援の先生等が関わって支援しています。また、教育相談の時間等を設け担任との定期的な懇談を大切にしている成果と考えます。

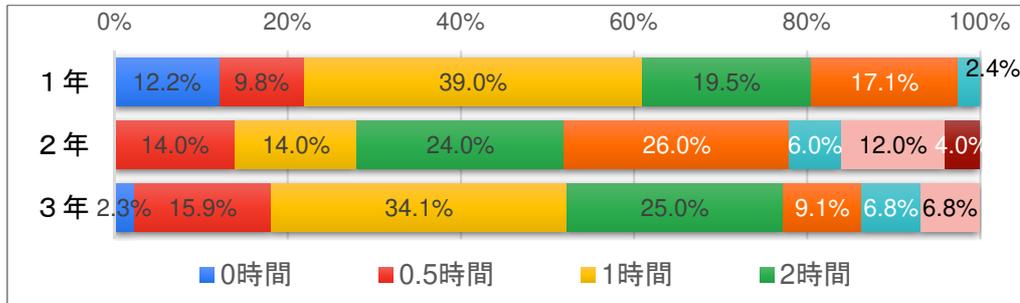
東っ子スイッチOFF（ノーメディアデー）週間

2月5日（金）から 2月11日（木）まで

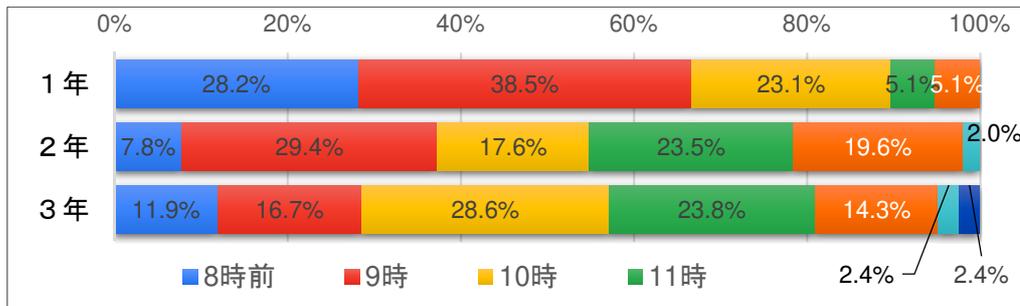
明日から一・二学期に引き続き、保護者の方のご協力のもと「東っ子 スイッチOFF週間」となります。

下図の今年度の7月にとったアンケート結果を見ても分かるように、まずは、SNS関係、ゲーム、テレビ等のメディアから、距離をとりましょう。

●電子メディアの使用時間(平日)



●平日の夜、電子メディアを何時まで利用しているか



「ほけんだより」を見ていただいても分かりますが、このような利用状況が続くと「健康面」等に影響を及ぼすことが分かります。この週間を機会に、まずは、メディアから離れてみるのが大切であると思います。



「スイッチOFF週間」は「メディアと離れて生活さえすればいい」ということが目的ではありません。

飽くまでも目的は、ノーメディアの状況をつくり、いろいろな可能性を見つけてほしいことです。そして、特に学生の本業である「学習」の習慣を身に付ける機会にしてほしいと思います。

いつも中学校では、「スイッチOFF週間」を期末テスト・総合テストの一週間前に設定してあります。テストが目標だと、自主自学の時間を作りやすくなります。また学習の成果が得点に反映されるなどの結果を出すことで、「自主自学」のよさが実感できると思います。週間が終わっても、主体的に学習する姿になることを願っています。

1月、2年生による生徒会もスタートしました。新型コロナウイルス感染症の収束も未だ見えず、今後も生徒会活動を始めとする様々な学校教育活動の制限が考えられます。

このような中でも、東中をよりよいものにしていくために、活動の目的を考えながら活動の効率化を目指し学校教育活動に取り組んでいく所存であります。今後ともご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

次号では、保護者による「学校評価アンケート」の結果については、お伝えいたします。

